

1 参加者 学校協議会委員 4 名, 校長, 学校事務局 7 名

## 2 報告概要

### ① 平成 28 年度学校経営計画 達成状況

#### 《全体説明》

授業力向上、進路指導強化、規律ある生活、ICT活用、里山活用プロジェクトについて計画に従い、実施してきました。

#### 《授業力》

プロジェクト活用をはじめとした中期目標の評価指標に関し、アンケート結果を踏まえた概要を説明しました。

#### 《授業アンケート》

今年度も第 2 回の方が各質問項目の平均値が高く、少しずつですが前年度と比較しても上昇傾向にあります。記述内容では、肯定的意見を第 1 回、2 回ともに記入された教員がいる一方、同じ内容の改善要望等を 2 回とも書かれた教員が一定数います。書かれたことをキチンと受け止め、検討する必要があります。

#### 《3 年 3 学期授業》

次年度より「3 年 3 学期」は、「午前中授業＋午後進学講習」という形に移行することを検討中です。

この形を確実に実のあるものにするためにも、今後さらに 1 年次からの学習指導、進路指導の強化を具体的に検討しています。

#### 《刀根山サミット》

生徒アンケートに基づき、生徒会執行部よりサミットでの質問－駐輪場、自習室、行事、部活動、食堂、文化祭時の「異装」、今後の生徒会活動－の 7 項目を選定しました。

12 月 16 日のサミット当日、上記 7 項目に関し、教職員代表・PTA 役員と執行部が話し合いました。

話し合いの結果、駐輪場でのカラス被害防止のための「カラストッパー」及び防球ネットの設置、自習室の設置検討、部活動の下校時間厳守、食堂利用者増加策の検討、玄関に「折りたたみ式スロープ」設置、こども園・小学校との交流強化のため「あいさつ運動」実施等が確認されました。

#### 《進路指導》

3 年生進路アンケート結果の説明を行いました。その中で 38 期生の 3 年間の取り組み－進路行事、進路指導等について具体的な説明を行いました。

#### 《生活指導》

遅刻は、今年度は残念ながら増加傾向にあり、特にこの 3 学期は増加しました。年度ごとの“生徒集団の雰囲気”が強く影響していると感じています。

自転車指導では、新たに警察の協力をいただき、これまでに 3 回ほど登校時に近隣の交差点に立ってもらいました。今後も継続的に行う予定です。

#### 《広報誌「TONEYAMA」》

現在 No.14 まで出来ています。中学生中心に広報活動に活用しています。

### ② 学校経営推進費事業：「刀根山・里山活用プロジェクト」

10 月に生徒を対象として「里山活用アンケート」を実施しました。11 月 20 日(土)に

は本校生だけでなく、地域の方も参加した「芋煮会」を午前中に行いました。午後は「刀根山の植生調査」として、兵庫県立大学 浅見 佳世 客員教授の指導の下、本校生に裏山での樹木や草花の種類と量の調べ方の実習をしていただきました。

さらに、11月27日(日)午前中、神戸女学院大学 人間科学部 遠藤 知二 教授と研究室の学生等5名に来校いただき、連携実習として「裏山のハチ類調査」を行いました。

この取組みは、「朝日新聞」12月6日付け朝刊でも取り上げられました。また、「TONE YAMA」No.14でも紹介しています。

これらの取組みで、地域の大人や子供そして大学生等と本校生が「斜めの関係」で接し、その中で色々な刺激を受け、自尊感情や進路意識を高めていくことをめざしています。

### ③ 学校教育自己診断結果

11月に実施した「学校教育自己診断」の結果概要について説明しました。

- ・教職員結果：「分掌、学年、委員会等の各校内組織の連携」が不十分という課題、「明確な学校理念・学校運営を校長が持っている」肯定率約93%、「計画的な教員研修実施」肯定率約88%
- ・生徒結果：「学校へ行くのが楽しい」肯定率約79%、「授業が分かりやすい」肯定率が若干減少し約54%、「校則・生徒指導方針」肯定率が上昇、数年減少傾向であった「文化祭・体育大会が楽しい」肯定率が若干増加し約85%
- ・保護者結果：数年減少傾向であった「教育方針が分かりやすく伝わっている」「保護者との意思疎通を図っている」「生活指導方針に共感できる」の肯定率が上昇に転じています。

現在、各分掌・学年が、診断結果の考察を行っています。

## 3 協議概要

Q：「学校教育自己診断」の結果より、プロジェクター投影画面が見えにくいとの意見が幾つかあるが。

A：プロジェクターの設置位置、文字色やフォントそして背景色の関係が関係していると思われます。生徒座席位置の調整、職員研修による検討等を行っています。まだまだ「進化の途上」にあり、今後もさらに工夫していく予定です。

Q：また、トイレが古い、汚い等の指摘も。

A：数年前にもそのような指摘があり、清掃等を進めてきており、最近では特に指摘もなくなっていたのですが。

府立高校のトイレは今後一部改修予定です。小中学校のトイレは、改修が進んでおり、それと比較し、余計に古い、汚い等の意見が出ていると考えています。

Q：新聞報道であった「ネイティブ英語教員」の配置は？

A：現時点では、どのような基準で配置されるのか分からない段階です。

なお、本校には現在、常勤のネイティブの英語の先生が1名配置されています。

Q：2年生で取り組まれている「クリティカル・シンキング」とは何ですか。

A：既存のテキストを使用しています。2年生では、毎水曜日の終礼時に実施しています。

自分の頭で考えて、問題解決能力の向上をめざす教材です。

・「公民館」という単語が、生徒の「学校教育自己診断」結果に出てくるようになったのは、うれしいことです。

・次年度は、「海外研修」を実施する方向で準備を進めています。